

第 181 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会 期：令和7年12月6日（土）

会 場：仙台サンプラザホテル（第1会場のみオンライン配信）

宮城県仙台市宮城野区榴岡5-11-1 TEL：022-257-3333

第1会場：3F クリスタル

第2会場：3F 宮城野

第3会場：2F 青葉

第4会場：5F カトレア

審査会場：1F ローズ

会長 安田 聡

事務局：東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野

宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 TEL：022 (717) 7153

- 参加登録受付 令和7年10月20日（月）～12月5日（金）17時まで
日循地方会ページから参加登録可能です。
- 会費及び支払方法 医師 / その他 3,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生・初期研修医 無料
参加登録および会費納入は、オンラインでのクレジット決済のみといたします。
- Web 視聴方法 Web 視聴はウェビナー登録が必要となります。参加登録完了メールにウェビナー登録 URL
が記載されますので、あわせてご登録をお願いいたします。
- 単位付与 <学会研修 単位：5 単位>
現地参加：当日現地会場の総合受付付近に設置しています「循環器専門医単位登録受付」より
受付いたします。
Web参加：本会においてライブ配信視聴ログを確認後、単位認定条件を満たしている場合、
2 週間を目処に単位が自動付与されます。
<教育セッション 単位：3 単位>
現地参加：第1会場前セッション開始30 分前より設置しています「教育セッション単位登録
受付」より受付いたします。
Web参加：対象セッションを累計45 分以上視聴いただいた方に、ライブ配信視聴ログを確認
後、2 週間を目処に単位が自動付与されます。

○ 演題について

一般演題：発表時間 5 分、質疑応答 2 分

YIA（ライブ配信）及び学生・初期研修医 AWARD：発表時間 7 分、質疑応答 5 分

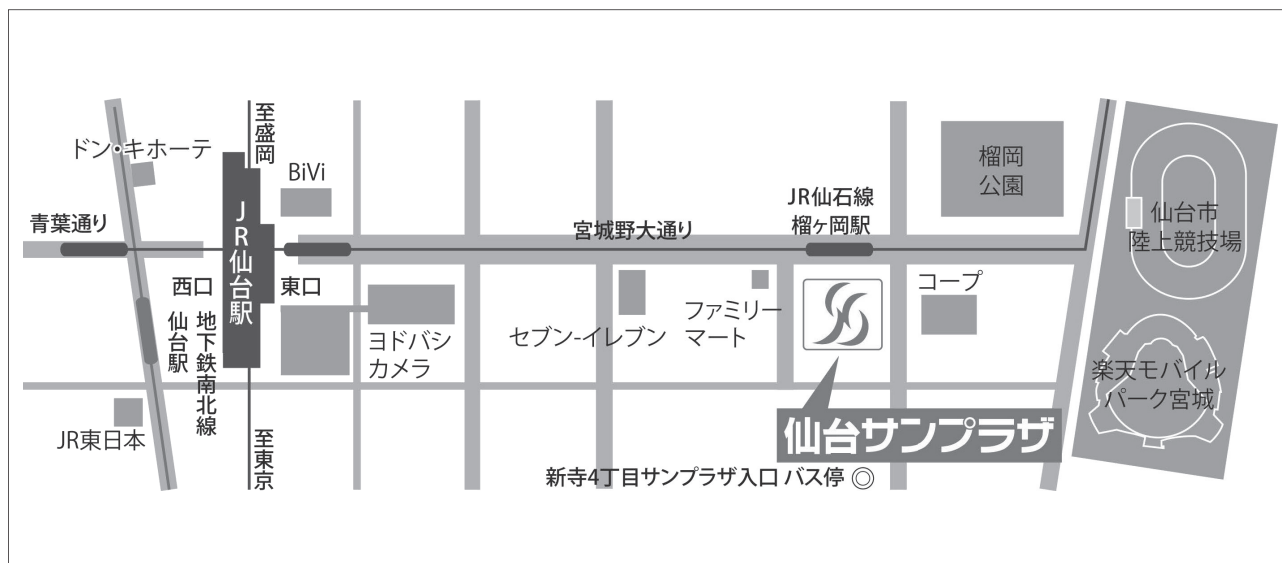
- *発表時間は手元の計時機器に表示され、発表時間残り 1 分前に黄色点灯、終了時に赤色点灯します。
- ・コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。
- ・Windows 版 Power Point で作成して下さい。発表者ツールのご利用はできません。
- ・動画の使用は YIA と学生・初期研修医 AWARD でのみ可能です。
- ・Macintosh はご自身の PC をご持参ください。（HDMI への変換を必ずご持参ください）
- ・**発表 30 分前までに**、作成したデータを USB メモリーにに入れて PC 受付にお持ち下さい。
- ・データのファイル名には演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ず付けて下さい（例：10 山形太郎 .ppt）。
- ・不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。

本会場内に託児施設を設置いたします。ご希望の方は東北支部 HP をご確認ください。

追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

会場にクロークを設定しております。

会場案内図



■仙台サンプラザホテル

宮城県仙台市宮城野区榴岡 5-11-1 TEL : 022-257-3333

電車

- JR 仙石線仙台駅 ～（約 3 分）～ 榴ヶ岡駅下車出入口 2 すぐ
＜雨に濡れずご来館いただけます＞
（JR 仙台駅仙石線のりば 9・10 番線、松島海岸・石巻方面行 [各駅停車]）
- 仙台市営地下鉄東西線 宮城野通駅下車 徒歩 12 分
- 仙台市営地下鉄東西線 連坊駅下車 徒歩 12 分

市営バス

- 仙台駅 ～（約 10 分）～ 新寺四丁目サンプラザ入口下車 徒歩 5 分
（JR 仙台駅西口バスプール 5 番のりば、308 系統）

お車

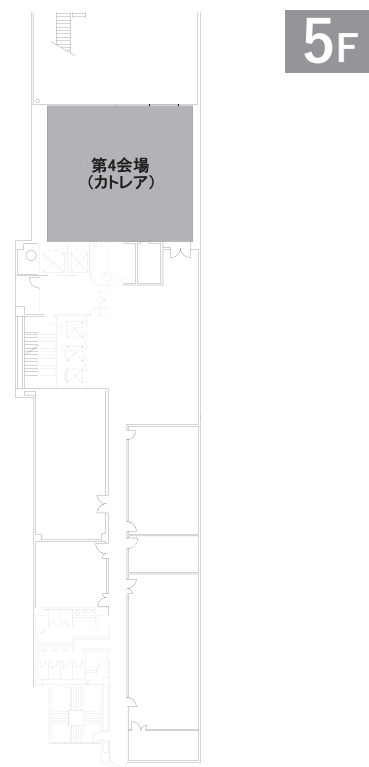
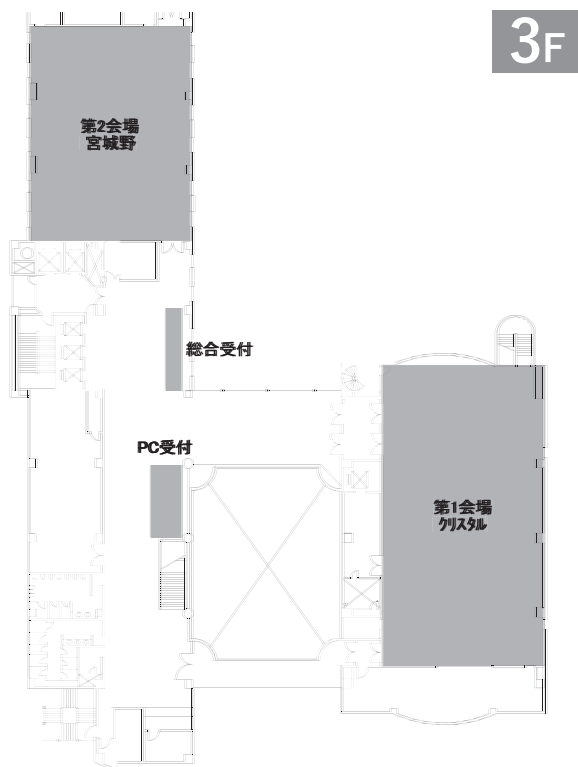
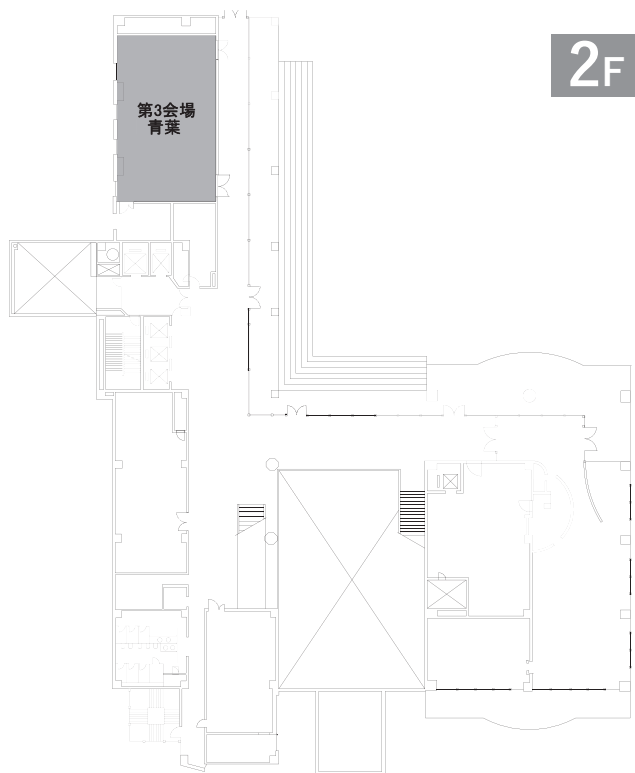
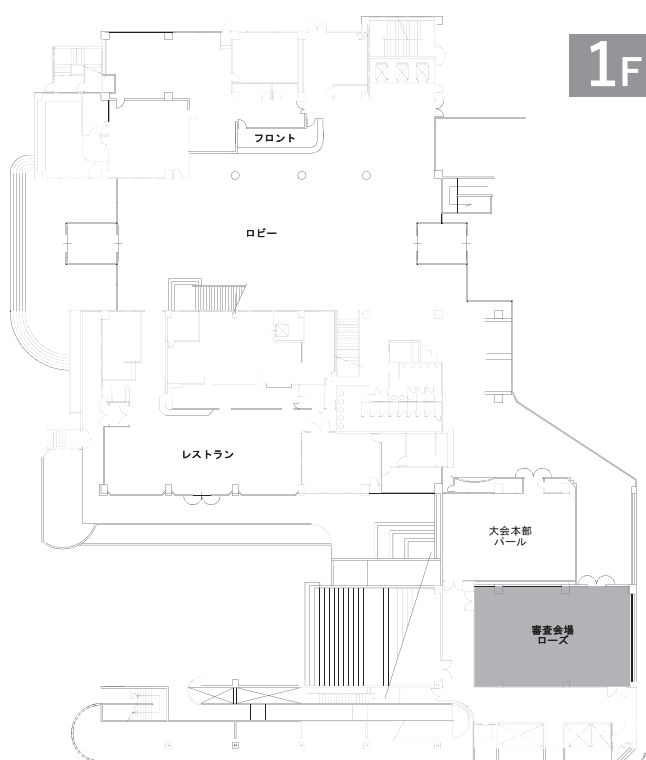
- 仙台宮城 I・C より約 30 分
- 仙台空港より約 40 分

徒歩

- JR 仙台駅東口より約 13 分
- 地下鉄仙台駅より約 23 分

フロア案内図

仙台サンプラザホテル



プログラム（敬称略）

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	審査会場
	[3F] クリスタル	[3F] 宮城野	[2F] 青 葉	[5F] カトレア	[1F] ローズ
8:00	8:10～8:40 モーニングセミナー1 座長：森野 禎浩 (岩手医科大学)	8:10～8:40 モーニングセミナー2 座長：富田 泰史 (弘前大学)			
9:00	8:55～会長あいさつ				
	9:00～10:00 YIA症例発表部門 座長：安田 聡 (東北大学)	9:00～10:00 学生・初期研修医AWARD 発表部門 座長：神戸 茂雄 (東北大学)	9:00～9:35 不整脈1 座長：伊藤 太平 (弘前大学) 座長：芳沢 礼佑 (岩手医科大学)	9:00～9:35 虚血1 座長：遠藤 知秀 (八戸市立市民病院) 座長：清水 竹史 (福島県立医科大学)	
10:00			9:40～10:15 不整脈2 座長：近藤 正輝 (岩手県立中央病院) 座長：橋本 直明 (山形大学)	9:40～10:15 肺高血圧 座長：喜古 崇豊 (福島県立医科大学) 座長：澁谷 修司 (弘前大学)	9:30～10:00 成人先天性心疾患部会
	10:00～11:00 YIA研究発表部門 座長：安田 聡 (東北大学)	10:10～10:52 心不全 座長：佐藤 和奏 (秋田大学) 座長：和根崎 真大 (山形大学)	10:20～10:55 血管炎他 座長：金澤 晃子 (太田西ノ内病院) 座長：那須 崇人 (八戸赤十字病院)	10:20～10:55 外科・手術 座長：片平 晋太郎 (岩手県立中央病院) 座長：小泉 淳一 (岩手医科大学)	10:00～10:30 学生・初期研修医AWARD 審査会
11:00					10:30～11:00 心肺蘇生法普及委員会
	11:10～12:00 スポンサードシンポジウム ダイバーシティ推進委員会 座長：渡部 賢 (山形大学) 對馬 迪子 (弘前大学)	11:10～12:00 学術セミナー1 座長：高橋 潤 (東北大学)	11:00～11:42 心筋炎 座長：及川 雅啓 (福島県立医科大学) 座長：芳沢 美知子 (岩手医科大学)	11:00～11:42 先天性心疾患 座長：松尾 諭志 (宮城県立こども病院) 座長：山本 沙織 (東北大学)	11:00～11:20 YIA審査会
12:00					11:20～11:50 支部役員会
	12:10～13:00 ランチョンセミナー1 座長：安田 聡 (東北大学)	12:10～13:00 ランチョンセミナー2 座長：渡邊 博之 (秋田大学)	12:10～13:00 ランチョンセミナー3 座長：渡辺 昌文 (山形大学)	12:10～13:00 ランチョンセミナー4 座長：熊谷 浩司 (東北医科大学)	
13:00					
	13:10～13:40 支部評議員会 表彰式				
14:00	13:50～14:40 成人先天性心疾患シンポジウム 座長：齋木 佳克 (東北大学) 豊野 学朋 (秋田大学)	13:50～14:40 学術セミナー2 座長：竹石 恭知 (福島県立医科大学)	13:50～14:32 虚血2 座長：大瀧 陽一郎 (山形大学) 座長：尾上 紀子 (仙台医療センター)	13:50～14:32 補助循環・デバイス 座長：近江 晃樹 (日本海総合病院) 座長：三浦 正暢 (岩手県立中央病院)	
15:00	14:50～15:40 教育セッション1 座長：高橋 潤 (東北大学)		14:40～15:15 不整脈3 座長：金城 貴士 (福島県立医科大学) 座長：長谷部 雄飛 (東北医科大学)		
16:00	15:40～16:30 教育セッション2 座長：安田 聡 (東北大学)				

座長: 安田 聡 (東北大学)

01 IgG4 関連冠動脈外膜周囲炎を背景にした急性心筋梗塞に対してステントレス PCI を施行した一例

公立置賜総合病院 循環器内科

○大沼 類、黒川 佑、枝村 峻佑、岩山 忠輝、佐々木敏樹、新関 武史

02 完全房室ブロックを唯一の臨床的表現型とした抗 Ku 抗体関連筋炎の1例

秋田大学医学部附属病院 循環器内科

○仙場 志保、若木 富貴、石原 歩葉、佐藤 和奏、佐藤 輝紀、寺田 健、渡邊 博之

03 拡張型心筋症と診断されていた抗ミトコンドリア M2 抗体陽性筋炎の1例

¹ 東北医科薬科大学 内科学第一 (循環器内科)、

² 東北医科薬科大学 脳神経内科学、

³ 東北医科薬科大学 内科学第三 (血液・リウマチ科)

○黒瀬 裕樹¹、杵渕 和志¹、久野 晴貴¹、市橋 克拓¹、松田 航星¹、長谷川 薫¹、
菊田 寿¹、関口 祐子¹、長谷部雄飛¹、亀山 剛義¹、山家 実¹、小丸 達也¹、
東野 将志²、石井 智徳³、熊谷 浩司¹

04 不整脈原性右室心筋症 (ARVC) に伴う高度右心不全合併症例に対する植込み型左心補助人工心臓植込みの一例

¹ 東北大学病院 循環器内科、

² 東北大学病院 心臓血管外科、

³ 山形大学医学部附属病院 第一内科

○北原 真理¹、後岡広太郎¹、新井真理奈¹、高濱 博幸¹、伊藤 校輝²、齋木 佳克²、
橋本 直明³、渡辺 昌文³、安田 聡¹

05 致死性不整脈が心不全に先行し、遺伝子検査で診断に至った TNNI3 変異関連特発性拘束型心筋症の一例

¹ 山形大学医学部附属病院 内科学第一講座

² 東北大学病院 循環器内科

○豊嶋 麻集¹、和根崎真大¹、橋本 直明¹、木下 大資¹、大瀧陽一郎¹、加藤 重彦¹、
田村 晴俊¹、有本 貴範¹、渡邊 哲¹、後岡広太郎²、安田 聡²、渡辺 昌文¹

座長: 安田 聡 (東北大学)

06 肺動脈起源心室不整脈に対する新たな治療戦略～肺動脈隔離の有効性～

山形大学医学部附属病院 第一内科

○小山 響子、橋本 直明、有本 貴範、豊嶋 麻集、小林 祐太、渡部 賢、木下 大資、
和根崎真大、大瀧陽一郎、加藤 重彦、田村 晴俊、渡邊 哲、渡辺 昌文

07 A 型大動脈解離における大動脈石灰化病変の臨床的意義: 遠位進展と転帰への影響

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系 循環器内科学講座

○小林 雄紀、佐藤 和奏、若木 富貴、佐藤 輝紀、渡邊 博之

08 血液を循環するエクソソームの心不全における臨床意義: プロテオミクス解析によるアプローチ

¹ 福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座、

² 福島県立医科大学 医学部 地域先端循環器病治療学講座、

³ 福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科

○草野 亮太¹、三阪 智史^{1,2}、大河内 諭¹、小河原 峻¹、佐藤 悠¹、横川 哲朗¹、
佐藤 崇匡^{1,2}、及川 雅啓¹、小林 淳¹、義久 精臣^{1,3}、石田 隆史¹、竹石 恭知¹

09 左室収縮能低下重症 AS における TAVR 後 LVEF 改善の予測因子としての心エコー指標

¹ 岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野、

² 岩手医科大学 臨床検査医学・感染症学講座

○佐藤 慎¹、熊谷亜希子^{1,2}、二宮 開¹、芳沢美知子¹、漆久保明子¹、島田 佳穂¹、
島田龍太郎¹、沼畑 亘¹、登坂 憲吾¹、二宮 亮¹、房崎 哲也¹、森野 禎浩¹

10 下大静脈三尖弁輪峡部依存性心房粗動に対する Peak Frequency ガイドアブレーションの有効性: 多施設共同研究

¹ 東北大学病院 循環器内科、

² 平鹿総合病院 循環器内科

○山中 真一¹、中野 誠¹、伊藤 知宏¹、山本 惟彦¹、佐藤 宏行¹、千葉 貴彦¹、
小松 真恭²、武田 智²、堀口 聡²

座長：神戸 茂雄（東北大学）

11 循環器疾患において推定血漿量は予後不良を予測する

¹ 山形大学医学部

² 山形大学医学部 内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座

○北川 凜¹、大瀧陽一郎²、光森 万智¹、渡邊 哲²、須貝 孝幸²、橋本 直明²、
木下 大資²、和根崎真大²、加藤 重彦²、田村 晴俊²、有本 貴範²、渡辺 昌文²

12 経皮的僧帽弁クリップ術直後にたこつぼ心筋症を発症した一例

¹ 山形県立中央病院 初期研修医、

² 山形県立中央病院 循環器内科

○瑞木 優祐¹、橋本 直土²、玉谷 紘悠²、小松優佳理²、黒柳あずさ²、齋藤 博生²、
青野 智典²、会田 敏²、長谷川寛真²、大道寺飛雄馬²、高橋 克明²、玉田 芳明²、
福井 昭男²

13 アルコール性ビタミン欠乏により高ホモシステイン血症を呈した肺塞栓症の一例

岩手県立中央病院 循環器内科

○大橋 駿斗、齊藤 大樹、畠山 梓、今野 駿平、荒沢 和也、前沢 樹、山田 魁人、
加賀谷裕太、金澤 正範、近藤 正輝、三浦 正暢、遠藤 秀晃、中村 明浩

14 収縮性心膜炎に心膜嚢胞を合併し右心不全が急速に進行した一例

山形市立病院済生館 循環器内科

○関野廉太郎、黒柳 浩志、村形 寿彦、屋代 祥典、中田 茂和、宮脇 洋

15 巨大肝嚢胞が心房中隔欠損症を介した右左シャントを増悪させた Platypnea Orthodeoxia Syndrome(POS) の一例

¹ 岩手県立中部病院 循環器内科、

² 岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

○加賀谷 祥¹、菊池 熙人¹、辻 桂子¹、紺野 亮¹、石曾根武徳¹、沼崎 大諄²、
室伏 明子²、島田龍太郎²、二宮 開²、芳沢美知子²、熊谷亜希子²、森野 禎浩²

座長：佐藤 和奏（秋田大学）
和根崎真大（山形大学）

16 大動脈弁石灰化スコアは大動脈弁狭窄症の早期段階から重症度を反映する

¹ 東北医科薬科大学 医学部医学科 5 年、

² 東北医科薬科大学 循環器内科

○佐々木拓也^{1,2}、亀山 剛義²、松田 航星²、黒瀬 裕樹²、長谷川 薫²、菊田 寿²、
関口 祐子²、長谷部雄飛²、山家 実²、小丸 達也²、熊谷 浩司²

17 排便時のいきみにより急性増悪を繰り返す心不全に対し緩下剤が著効した一例

みやぎ県南中核病院

○佐藤 怜、井汲 陽祐、遠藤 貴大、鈴木 啄巳、座間 峻、森谷 茜、門間 雄斗、
田中 修平、塩入 裕樹、富岡 智子

18 ファブリー病と卵円孔開存を合併した再発性脳梗塞の一例

福島県立医科大学附属病院 循環器内科

○坂本 和哉、小林 淳、清水 竹史、池田 彩乃、赤間 浄、佐藤 悠、三浦 俊輔、
及川 雅啓、中里 和彦、竹石 恭知

19 集学的治療により体外式補助人工心臓植え込み術を回避し得た一例

¹ 岩手県立中央病院 循環器内科、

² 岩手県立中央病院 心臓血管外科

○荒沢 和也¹、近藤 正輝¹、今野 駿平¹、畠山 梓¹、前沢 樹¹、山田 魁人¹、
加賀谷裕太¹、齊藤 大樹¹、金澤 正範¹、三浦 正暢¹、片平晋太郎²、遠藤 秀晃¹、
小田 克彦²、中村 明浩¹

20 慢性心腎症候群に対する腹膜透析の有効性が示された 1 例

¹ 泉中央病院 透析センター・腎臓内科、² 東北医科薬科大学 若林病院 腎臓内科、

³ 仙台循環器病センター 循環器内科、⁴ JCHO 仙台病院 腎臓疾患臨床研究センター

○鈴木 舞¹、石山 勝也²、田中 直之³、植松 庄子³、藤井 真也³、佐藤 光博⁴、
八木 勝宏³

21 手根管症候群手術を契機に診断された野生型トランスサイレチン型心アミロイドーシスの
2 例

¹ 地方独立行政法人 市立秋田総合病院 循環器内科、

² 小玉医院 内科、

³ 秋田大学 循環器内科

○藤原 敏弥¹、沼田 英輔¹、佐々木 琢¹、藤原理佐子¹、柴原 徹¹、阿部 芳久¹、
奈良 育美²、佐藤 和奏³、渡邊 博之³

座長: 伊藤 太平 (弘前大学)
芳沢 礼佑 (岩手医科大学)

22 偽アルドステロン症による Torsades de Pointes の一例

公益財団法人 仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

○尾形 剛、砂村慎一郎、野田 一樹、瀧井 暢、浪打 成人

23 リドカインが奏功したベラパミル感受性心室頻拍の一例

大原総合病院 循環器内科

○西浦 司人、國井 浩行、片平 正隆、大木 理次、中村 裕一、齋藤 修一

24 シベンゾリン中毒による持続性心室頻拍を来した症例

福島県立医科大学附属病院 循環器内科

○堀岡 暉、佐藤 彰彦、笠原 慎也、池田 彩乃、赤間 浄、佐藤 悠、石田 隆史、
竹石 恭知

25 心臓腫瘍を伴う B 細胞型悪性リンパ腫に徐脈頻脈症候群を認めた一例

¹ 仙台市立病院 循環器内科、

² 仙台市立病院 血液内科

○瀬戸 秋香¹、池田 尚平¹、柳澤 直¹、古山 和樹¹、藤田 亓成¹、鈴木 啓資¹、
中潟 寛¹、青木 恒介¹、佐藤 英二¹、山科 順裕¹、宮下 武彦¹、三引 義明¹、
石田 明彦¹、八木 哲夫¹、突田真紀子²、山本 譲司²

26 多発動脈塞栓症を発症し植込み型心電計により潜在性心房細動が捕捉された一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○濤岡 瑠菜、對馬 迪子、鹿内 駿、山崎 堅、濱舘 美里、妹尾麻衣子、成田 憲紀、
市川 博章、花田 賢二、澁谷 修司、横山 公章、富田 泰史

座長: 近藤 正輝 (岩手県立中央病院)
橋本 直明 (山形大学)

27 Self-Reference 機能を用い上大静脈起源 PAC Firing を焼灼した発作性心房細動の 1 例

大崎市民病院 初期研修医

○小関 悠司、佐竹 洋之、山戸田 勇貴、下山 穰、田中 俊二、山内 毅、相澤健太郎、
圓谷 隆治、竹内 雅治、岩渕 薫

28 心房細動に対するパルスフィールドアブレーションが奏功した腎不全合併不整脈誘発性心筋症の一例

東北医科薬科大学病院 循環器内科

○長谷部雄飛、久野 晴貴、杵渕 和志、市橋 克拓、松田 航星、黒瀬 裕樹、長谷川 薫、
菊田 寿、関口 祐子、亀山 剛義、山家 実、小丸 達也、熊谷 浩司

29 旋回興奮伝播様式 (RAP) を指標に効率的に治療し得た陳旧性心筋梗塞関連心室頻拍の一例

¹ 福島県立医科大学 循環器学講座、

² 福島県立医科大学 心臓調律制御医学講座

○猪股 佳幸¹、山田 慎哉^{1,2}、室田 定洋¹、野寺 穰¹、金城 貴士¹、石田 隆史^{1,2}、
竹石 恭知¹

30 最早期興奮部位の LCC-RCC 交連部で刺激伝導系を捕捉したため焼灼できなかった特発性心室頻拍の一例

秋田大学医学部附属病院 循環器内科

○加藤 僚祐、佐藤 莉恵、鈴木 暢容、丹波 佑介、青川 麻子、三浦 健、寺田 健、
渡邊 博之

31 左心耳切除が根治的アブレーション治療を可能とした抗凝固療法抵抗性左心耳内血栓の 1 例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○日山 芽維、外山 佑一、木村 正臣、濱浦 奨悟、伊藤 太平、石田 祐司、佐々木真吾、
富田 泰史

座長：金澤 晃子（太田西ノ内病院）
那須 崇人（八戸赤十字病院）

32 大動脈弁置換術後に発生した上行大動脈仮性瘤を契機に、巨細胞性動脈炎の診断に至った一例

¹ つがる西北五広域連合 つがる総合病院 循環器呼吸器腎臓内科、

² 弘前大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科

○和島 将太¹、安藤 桃子¹、米倉 学¹、加藤 千里¹、阿部 直樹¹、于 在強²、
皆川 正仁²

33 不明熱と顎跛行を伴った高齢女性の巨細胞性動脈炎の一例

弘前大学医学部附属病院 循環器腎臓内科学講座

○浅沼 千滉、花田 賢二、山崎 堅、鹿内 駿、濱舘 美里、對馬 迪子、妹尾麻衣子、
成田 憲紀、市川 博章、澁谷 修司、横山 公章、富田 泰史

34 多発脳梗塞から脳膿瘍を合併した感染性心内膜炎の一例

¹ 福島赤十字病院 循環器内科、

² 福島赤十字病院 脳神経外科、

³ 福島県立医科大学附属病院 心臓血管外科

○佐藤 洋太¹、石橋 伸幸¹、市村 祥平¹、阪本 貴之¹、渡部 研一¹、大和田尊之¹、
小祝 萌²、松永 章吾³、今坂 堅一³

35 高ホモシステイン血症が一因と考えられた急性肺血栓塞栓症の一例

気仙沼市立病院 循環器内科

○米津 雄飛、小枝 秀仁、及川 卓也、但木壯一郎、尾形 和則

36 胃癌手術を契機に診断された卵円孔開存による低酸素血症の一例

東北大学病院 循環器内科

○齊藤 将哉、羽尾 清貴、船木 崇裕、勝田 祐子、小沼 翔、進藤 智彦、大山 宗馬、
神戸 茂雄、白戸 崇、高橋 潤、安田 聡

座長：及川 雅啓（福島県立医科大学）
芳沢美知子（岩手医科大学）

37 難治性心房頻拍と洞不全症候群を初発症状とした抗ミトコンドリア M2 抗体陽性筋炎関連心筋症の一例

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学

○佐藤 宏行、鈴木 秀明、山中 真一、伊藤 知宏、山本 惟彦、千葉 貴彦、中野 誠、
安田 聡

38 完全房室ブロックが遷延した急性心筋炎の1例

福島県立医科大学附属病院 循環器内科学講座

○五十嵐菜央、坂本 和哉、横川 哲朗、上田 捷太、佐藤勇太郎、芳賀 文香、池田 彩乃、
喜古 崇豊、佐藤 崇匡、及川 雅啓、小林 淳、中里 和彦、石田 隆史、竹石 恭知

39 ST 上昇を呈し急性心筋梗塞との鑑別を要した免疫チェックポイント阻害薬関連心筋炎の一例

¹ 東北大学病院 循環器内科、

² 東北大学 放射線診断科

○隈部 将太¹、大山 宗馬¹、高木 英誠²、藺部 太一¹、安達 歩¹、和山 啓馬¹、
小沼 翔¹、進藤 智彦¹、神戸 茂雄¹、羽尾 清貴¹、白戸 崇¹、高橋 潤¹、
安田 聡¹

40 Nivolumab による irAE（免疫関連有害事象）で急性心筋炎を発症し、大量ステロイド投与により救命できた一症例

仙台市立病院 循環器内科

○藤田 壺成、宮下 武彦、瀬戸 秋香、柳澤 直、古山 和樹、鈴木 啓資、中潟 寛、
青木 恒介、池田 尚平、佐藤 英二、山科 順裕、三引 義明、石田 明彦、八木 哲夫

41 入院中に改善傾向であった心筋炎が再燃しステロイドが著効した高齢女性の一例

岩手県立中部病院 循環器内科

○河村真結子、紺野 亮、菊池 熙人、辻 佳子、石曾根武徳

42 遅発性に好酸球増多を認めた好酸球性心筋炎の一例

¹ 岩手県立中央病院 循環器内科、

² 岩手県立中央病院 病理診断科

○菊池 奏月¹、三浦 正暢¹、今野 駿平¹、畠山 梓¹、前沢 樹¹、荒沢 和也¹、
山田 魁人¹、加賀谷裕太¹、齊藤 大樹¹、金澤 正範¹、近藤 正輝¹、遠藤 秀晃¹、
伊藤 勇馬²、小野 貞英²、西谷 匡央²、中村 明浩¹

座長: 大瀧陽一郎 (山形大学)

尾上 紀子 (仙台医療センター)

43 慢性期の確認造影時に誘発なく冠攣縮発作が確認された心筋梗塞の一例

¹ 東北医科薬科大学病院 循環器内科、

² 東北医科薬科大学病院 初期研修医

○佐井 友美^{1,2}、関口 祐子¹、久野 晴貴¹、杵渕 和志¹、黒瀬 裕樹¹、菊田 寿¹、
亀山 剛義¹、飯野さくら^{1,2}、市橋 克拓¹、松田 航星¹、長谷川 薫¹、長谷部雄飛¹、
山家 実¹、小丸 達也¹、熊谷 浩司¹

44 急性心筋梗塞に対する PCI 施行後、β遮断薬服用中に冠攣縮が判明した一例

山形県立中央病院 循環器内科

○高畠 蒼、高橋 克明、玉谷 紘悠、黒柳あずさ、小松優佳理、齋藤 博生、青野 智典、
橋本 直土、會田 敏、長谷川寛真、大道寺飛雄馬、玉田 芳明、福井 昭男

45 当院で経験した特発性冠動脈解離 Type2 による急性冠症候群の 3 例

国立病院機構仙台医療センター 臨床研修部

○佐瀬 智則、高橋 佳美、小倉雄太郎、小山あずさ、江口久美子、笠原信太郎、山口 展寛、
尾上 紀子

46 急性心筋梗塞に対する緊急 PCI 施行中に食道粘膜下血腫による出血性ショックをきたした一例

独立行政法人労働者健康福祉機構 福島労災病院 循環器科

○渡邊 俊介、三戸 征仁、渡邊 康之、吉成 和之、小松 宣夫、鈴木 重文

47 巨大左房による冠動脈圧迫症候群を呈した一例の病理解剖学所見を交えた症例検討

¹ 仙台市立病院 循環器内科、

² 仙台市立病院 病理診断科

○古山 和樹¹、八木 哲夫¹、瀬戸 秋香¹、柳澤 直¹、藤田 亓成¹、鈴木 啓資¹、
中潟 寛¹、青木 恒介¹、池田 尚平¹、佐藤 英二¹、山科 順裕¹、宮下 武彦¹、
三引 義明¹、石田 明彦¹、齋藤 明見²、渋谷 里絵²

48 心筋梗塞後の慢性期予後は改善してきているか

公益財団法人 仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

○浪打 成人、砂村慎一郎、尾形 剛、野田 一樹、瀧井 暢

座長: 金城 貴士 (福島県立医科大学)

長谷部雄飛 (東北医科薬科大学)

49 Slow Pathway Ablation において Junctional Tachycardia を認めず根治し得た Slow-Fast AVNRT の一例

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○鈴木 暢容、寺田 健、安田 真穂、久米 翔弥、鈴木 真由、柳澤 和哉、貝森 亮太、
渡邊 博之

50 心房の substrate mapping が有用であった複数波形の切開線リエントリー性頻拍の一例

岩手医科大学附属病院 循環器内科

○田口 智、大和田真玄、森 皓太郎、漆久保 敬、澤 陽平、芳沢 礼佑、森野 禎浩

51 顕在性 WPW 症候群のアブレーション後再発例で経内頸静脈アプローチが著効した右前側壁 Kent 束の一例

東北大学病院 循環器内科

○則政 颯、佐藤 宏行、山中 真一、伊藤 知宏、山本 惟彦、千葉 貴彦、中野 誠、
安田 聡

52 AFMR・Paf 合併症例に対してカテーテルアブレーションを施行した一例

仙台市立病院 循環器内科

○柳澤 直、池田 尚平、瀬戸 秋香、古山 和樹、藤田 壺成、鈴木 啓資、中潟 寛、
青木 恒介、佐藤 英二、山科 順裕、宮下 武彦、三引 義明、石田 明彦、八木 哲夫

53 二腔型リードレスペースメーカー患者に near-zero fluoroscopy PFA を施行した一例

一般財団法人厚生会 仙台厚生病院 心臓センター 循環器内科

○菊地 洋平

座長: 遠藤 知秀 (八戸市立市民病院)
清水 竹史 (福島県立医科大学)

54 金属アレルギー疑いの高齢狭心症患者に Off-pump CABG を施行した一例

¹ 仙台市立病院 診療部、

² 仙台市立病院 循環器内科、

³ 仙台市立病院 心臓血管外科

○吉町 文子¹、池田 尚平²、瀬戸 秋香²、柳澤 直²、古山 和樹²、藤田 亓成²、
鈴木 啓資²、中潟 寛²、青木 恒介²、佐藤 英二²、山科 順裕²、宮下 武彦²、
三引 義明²、石田 明彦²、八木 哲夫²、外山 秀司³

55 大伏在静脈グラフトに挿入したステントが慢性期に断裂し、グラフト仮性瘤を形成した 1 例

¹ 岩手医科大学 内科学講座 循環器内科学分野、

² 岩手県立中部病院 循環器内科、

³ 八戸赤十字病院 循環器内科

○佐藤 鴻気¹、石田 大¹、浅野 峻見¹、佐々木 豪^{1,2}、島田 佳穂¹、二宮 開¹、
田口 裕哉^{1,3}、肥田 頼彦¹、森野 禎浩¹

56 チロシンキナーゼ阻害薬服用中に発症した若年性冠動脈疾患の 2 例

秋田大学医学部附属病院 循環器内科学

○安田 真穂、加藤 宗、三浦 千尋、高橋 潤、小林 雄紀、渡邊 博之

57 喘息発作で誘発された冠攣縮性狭心症の一例

青森県立中央病院 循環器内科

○加藤 朋、安藤 桃子、相馬 宇伸、鈴木 晃子、舘山 俊太、櫛引 基

58 ドブタミン負荷エコー検査により誘発された冠攣縮性狭心症の 1 例

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○尾上 紀子、小倉雄太郎、小山あずさ、江口久美子、高橋 佳美、山口 展寛

座長：喜古 崇豊（福島県立医科大学）
澁谷 修司（弘前大学）

59 抗セントロメア抗体陽性シェーグレン症候群に合併した肺動脈性肺高血圧の治療経過

¹ 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター 循環器内科、

² 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター リウマチ内科、

³ 岩手県立江刺病院 循環器内科、

⁴ 岩手医科大学附属病院 循環器内科

○高橋 信¹、千葉 実行²、上田 寛修³、芳沢 礼佑⁴、篠崎 毅¹

60 肺血管拡張薬が著効した POEMS 症候群に合併した肺高血圧症の一例

東北大学 循環器内科

○矢尾板信裕、佐藤 大樹、山本 沙織、佐藤 遥、菊地 順裕、建部 俊介、新井真理奈、
後岡広太郎、高濱 博幸、安田 聡

61 多診療科連携により診断しえた、原発性シェーグレン症候群に伴う肺動脈性肺高血圧症の
1 例

¹ 岩手県立久慈病院 循環器内科、² 岩手医科大学 循環器内科、

³ 岩手県立久慈病院 消化器内科、⁴ 岩手医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科、

⁵ 岩手県立久慈病院 眼科、⁶ 岩手医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科、

⁷ 岩手県立久慈病院 歯科口腔外科

○中村 郁月¹、小林 敬正¹、新山 正展¹、大崎 拓也¹、佐藤 彩加¹、木村 優¹、
石田 大²、菅原 寛志³、駒ヶ嶺正嗣⁴、朝倉智恵美⁵、阿部 俊彦⁶、野宮 孝之⁷

62 肥満肺胞低換気症候群を基礎疾患とした肺高血圧症および心不全に対して、集学的治療を
行い救命し得た一例

¹ つがる西北五広域連合つがる総合病院 循環器・呼吸器・腎臓内科、

² 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター

○大坪 庸祐¹、和島 将太¹、安藤 桃子¹、米倉 学¹、加藤 千里¹、阿部 直樹¹、
花田 裕之²、横田 貴志²、杉山 佳奈²

63 オスラー病（遺伝性出血性末梢血管拡張症）に合併した肺動脈性肺高血圧症に対し両肺移
植を行った一例

¹ 東北大学医学部附属病院 循環器内科、

² 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野

○菊地 順裕¹、山本 沙織¹、矢尾板信裕¹、佐藤 大樹¹、佐藤 遥¹、玉那覇茉由¹、
建部 俊介¹、高濱 博幸¹、後岡広太郎¹、鈴木 秀明¹、新井真理奈¹、岡田 克典²、
安田 聡¹

座長：片平晋太郎（岩手県立中央病院）

小泉 淳一（岩手医科大学）

64 大動脈弁置換術後に左脚ブロックと房室ブロックの改善を認めた一例

大崎市民病院 循環器内科

○芦川 直輝、山内 毅、山戸田勇貴、下山 穰、中田 貴史、佐竹 洋之、相澤健太郎、
圓谷 隆治、竹内 雅治、岩渕 薫

65 石灰化僧帽弁輪を伴う狭小僧帽弁に対して chimney 法を用いた弁置換術が有効であった症例

¹ 福島県立医科大学付属病院 心臓血管外科学講座、

² 福島県立医科大学付属病院 先進統合脈管学講座

○近内 政美¹、高瀬 信弥²、若松 大樹¹、五十嵐 崇¹、松永 章吾¹、永田 恵実¹、
川又 諒¹、中岡 勇貴¹、今坂 堅一¹

66 B型解離 TEVAR 後 dSINE を PETTICOAT-Snowshoe technique で治療した1例

¹ 総合南東北病院 心臓血管外科、

² 千葉西総合病院 心臓血管外科

○新妻 楠望^{1,2}、緑川 博文¹、野村 千穂¹、栗原悠太郎¹、堀田 明敬¹、滝浪 学¹、
植野 恭平¹、菅野 恵¹

67 左総腸骨動脈瘤圧迫による腸骨静脈圧迫症候群に対して左総腸骨動脈人工血管置換術 (Y-graft) を施行した一例

¹ 岩手県立中央病院 循環器内科学、

² 岩手県立中央病院 循環器内科学

○小山晃太郎¹、三浦 正暢¹、今野 駿平¹、畠山 梓¹、前沢 樹¹、荒沢 和也¹、
山田 魁人¹、加賀谷裕太¹、齊藤 大樹¹、金澤 正範¹、近藤 正輝¹、武富 龍一²、
片平晋太郎²、遠藤 秀晃¹、小田 克彦²、中村 明浩¹

68 腹部大動脈瘤人工血管置換術後8年目に、破裂を伴う人工血管感染に対し集学的治療を行った一例

総合南東北病院 心臓血管外科

○野村 千穂、緑川 博文、栗原悠太郎、新妻 楠望、堀田 明敬、滝浪 学、植野 恭平、
菅野 恵

座長：松尾 諭志（宮城県立こども病院）
山本 沙織（東北大学）

69 ファロー四徴症を背景にした慢性静脈鬱滞による下肢病変

秋田大学 心臓血管外科

○五十嵐 至、五十嵐 亘、山崎 友也、荒井 岳史、桐生健太郎、高木 大地、山浦 玄武、
中嶋 博之

70 脊柱後弯および卵円孔開存を背景とした platypnea-orthodeoxia syndrome の一例

¹ 白河厚生総合病院 第二内科、

² 白河厚生総合病院 総合診療科、

³ 福島県立医科大学 循環器内科学講座

○藤塚 瑞穂¹、大和田卓史¹、桜庭 省吾²、佐久間裕也¹、武藤 雄紀³、清水 竹史³、
鈴木 龍児²、及川 雅啓³、泉田 次郎¹、斎藤 富善¹、前原 和平¹、竹石 恭知³

71 成人 ASD、心房細動に伴う重症 TR に対するカテーテル ASD 閉鎖後の二期的弁形成術の
1 例

山形大学医学部附属病院 第2外科

○水本 雅弘、落合 智徳、黒田 吉則、林 潤、廣岡 秀人、小林 龍宏、赤羽根健太郎、
内田 徹郎

72 Medtronic Harmony 弁摘出を行なった MSSA 感染性心内膜炎の1例

東北大学病院 小児科学

○矢尾板久雄、鈴木 大、大田 千晴、菊池 敦生

73 フォンタン型手術術後妊娠の周産期管理と転帰：2例3分娩の検討

¹ 東北大学病院 循環器内科、

² 東北大学病院 心臓血管外科、

³ 東北大学病院 小児科、

⁴ 東北大学病院 産婦人科

○玉那覇茉由¹、建部 俊介¹、山本 沙織¹、矢尾板信裕¹、佐藤 大樹¹、菊地 順裕¹、
佐藤 遥¹、安田 聡¹、齋木 佳克²、大田 千晴³、矢尾板久雄³、鈴木 大³、
齋藤 昌利⁴

74 成人体格例に対する右腋窩縦切開による低侵襲 MICS-ASD 閉鎖術の臨床成績

岩手医科大学附属病院 心臓血管外科

○枝木 大治、小泉 淳一、斉藤 大樹、田林 東、塩屋 雅人、正木 直樹、金 一

座長：近江 晃樹（日本海総合病院）
三浦 正暢（岩手県立中央病院）

75 ショックリード不全に対して CRT-P へのダウングレードを行った治療抵抗性心不全の一例

弘前大学医学部 循環器内科

○石田 祐司、佐々木真吾、木村 正臣、伊藤 太平、外山 佑一、濱浦 奨悟、日山 芽維、
富田 泰史

76 動脈性出血が疑われた心房スクリーリードによる心タンポナーデの一例

山形市立病院済生館 循環器内科

○黒柳 浩志、中田 茂和、村形 寿彦、屋代 祥典、宮脇 洋

77 冠動脈三枝病変に対し上腕アクセス IABP 下 PCI を施行後 Dual Device 戦略を組み救命した一例

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 循環器内科

○小村 優駿、菊地 彰洋、西村 英人、結城 翔太、山本 雄太、門脇 心平、禰津 俊介、
桐林 伸幸、近江 晃樹、菅原 重生

78 右房内巨大血栓が残存した肺動脈血栓塞栓症に対して VA-ECMO を導入して血栓除去術を施行した一例

¹ いわき市医療センター 循環器内科、

² いわき市医療センター 心臓血管外科

○川合 杏奈¹、工藤 俊¹、渡辺 翼¹、土屋 聡¹、野木 正道¹、石井 和典¹、
瀬川 将人¹、塙 健一郎¹、山下 文男¹、山本 義人¹、杉 正文¹、入江 嘉仁²

79 院内発症 ST 上昇型心筋梗塞に対して Impella CP 補助下 PCI を行い救命し得た心原性ショックの一例

東北大学病院 循環器内科

○小沼 翔、進藤 智彦、大山 宗馬、神戸 茂雄、羽尾 清貴、白戸 崇、高橋 潤、
安田 聡

80 劇症型急性心筋炎に対して ECMO + Impella (ECPELLA) が奏功した2症例

いわき市医療センター

○土屋 聡、川合 杏奈、渡辺 翼、野木 正道、石井 和典、瀬川 将人、塙 健一郎、
工藤 俊、山下 文男、山本 義人、杉 正文

モーニングセミナー 1（第1会場：3F クリスタル） 8：10～8：40

座長：岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野 主任教授 **森野 禎浩**

「経カテーテル的大動脈弁留置術の今を識る～ Evolut familyの実力～」

演者：弘前大学大学院医学系研究科 脳卒中・血管内科学講座 准教授 **横山 公章**

共催：日本メドトロニック株式会社

モーニングセミナー 2（第2会場：3F 宮城野） 8：10～8：40

座長：弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授 **富田 泰史**

「心原性ショック症例における

機械的補助循環併用下NO吸入療法の臨床的有用性」

演者：近畿大学医学部 循環器内科学 准教授 **上野 雅史**

共催：マリクロットファーマ株式会社

スポンサードシンポジウム ダイバーシティ推進委員会 (第1会場: 3F クリスタル) 11:10 ~ 12:00

座長: 山形大学医学部 内科学第一講座 病院助教 **渡部 賢**
弘前大学大学院医学系研究科 循環器腎臓内科学講座 助教 **對馬 迪子**

「心不全患者の希望を実現するために」

～ここから学ぶ心不全緩和ケアと漢方治療～」

演者: 北里大学医学部 循環器内科学 診療講師 **鍋田 健**

共催: 株式会社ツムラ

成人先天性心疾患部会シンポジウム (第1会場: 3F クリスタル) 13:50 ~ 14:40

座長: 東北大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学分野 教授 **齋木 佳克**
秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 小児科学講座 准教授 **豊野 学朋**

「成人先天性心疾患 (ACHD) 移行医療と地域医療体制について考える」

演者: 宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課 技術副参事兼総括課長補佐 **中嶋亜希子**

仙台医療センター 小児科 医長 **木村 正人**

東北大学高等教養教育・学生支援機構 (循環器内科) 准教授 **建部 俊介**

共催: 日本循環器学会東北支部 成人先天性心疾患部会

学術セミナー 1 (第2会場: 3F 宮城野) 11:10 ~ 12:00

座長: 東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 准教授 **高橋 潤**

「高血圧管理における睡眠時無呼吸 ～ JSH2025 における位置づけ～」

演者: 順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学 准教授 **葛西 隆敏**

共催: 第一三共株式会社

学術セミナー 2 (第2会場: 3F 宮城野) 13:50 ~ 14:40

座長: 福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座 主任教授 **竹石 恭知**

「これからの心アミロイドーシス診療に siRNA製剤をどのように活用するか ～原因たんぱく質の産生を抑える意義～」

演者: 慶應義塾大学 医学部 循環器内科 専任講師 **遠藤 仁**

共催: Alnylam Japan 株式会社

ランチョンセミナー 1 「心アミロイドーシスの早期診断と治療の最前線」
(第1会場：3F クリスタル) 12:10～13:00

座長：東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授 **安田 聡**

「肥大心から心アミロイドーシスを診る」

演者：東北大学病院 循環器内科 特任准教授 **後岡広太郎**

**「最適な ATTR-CM 治療を届けるために
～心不全・不整脈・TTRの機能から考える～」**

演者：東京大学医学部附属病院 循環器内科 准教授／高度心不全治療センター センター長 **波多野 将**

共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 2 (第2会場：3F 宮城野) 12:10～13:00

座長：秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座 教授 **渡邊 博之**

**「週一の注射で変わる未来
～GLP-1 受容体作動薬を活かした肥満診療～」**

演者：札幌医科大学医学部 内科学講座 循環病態内科学分野 病院教授 **矢野 俊之**

共催：ノボノルディスクファーマ株式会社

ランチョンセミナー 3 (第3会場: 2F 青葉) 12:10 ~ 13:00

座長: 山形大学医学部 内科学第一講座 教授 **渡辺 昌文**

「心不全・CKD パンデミックに立ち向かう "一石三鳥" の治療戦略」

演者: 札幌医科大学 保健医療学部 看護学第三講座 (内科) 教授 兼
医学部 内科学講座 循環病態内科学分野 **丹野 雅也**

共催: アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー 4 (第4会場: 5F カトレア) 12:10 ~ 13:00

座長: 東北医科薬科大学医学部 内科学第一 (循環器内科) 教授 **熊谷 浩司**

「変わり続ける心不全治療

心不全診療ガイドライン改定のポイントも含めて」

演者: 北里大学医学部 循環器内科学 主任教授 **阿古 潤哉**

共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

教育セッション 1（第 1 会場：3F クリスタル） 14：50～15：40

座長：東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 准教授 **高橋 潤**

「東北メディカル・メガバンク計画における 最近の成果とバイオバンクの利活用」

演者：東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム解析部門 助教 **黒澤 亮**

教育セッション 2（第 1 会場：3F クリスタル） 15：40～16：30

座長：東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授 **安田 聡**

「医療データ連携の新潮流： FHIRと内閣府SIPを活用した循環器診療の未来像」

演者：東北大学大学院医学系研究科 医学情報学分野 教授 **中山 雅晴**

審査会・会議

(審査会場：1F ローズ)

成人先天性心疾患部会	09 : 30 ~ 10 : 00
学生・初期研修医 AWARD 審査会	10 : 00 ~ 10 : 30
心肺蘇生法普及委員会	10 : 30 ~ 11 : 00
YIA 審査会	11 : 00 ~ 11 : 20
支部役員会	11 : 20 ~ 11 : 50

(第 1 会場：3F クリスタル)

支部評議員会・YIA 表彰式、 学生初期研修医 AWARD 表彰式	13 : 10 ~ 13 : 40
--------------------------------------	-------------------

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総 則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員 / 支部特別会員 / 支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事および JCS-ITC 担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。

4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会 / 社員総会において会計報告及び JCS-ITC 業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第 10 条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法 / 任期 / 定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理 / 事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項（JCS-ITC 報告など）
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要（事後確認可）とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要（事後確認可）とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附 則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に 違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。
 - 1) 規程について正しい知識がなかったこと
 - 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
 - 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部運営内規

平成 28 年 4 月 1 日施行
平成 30 年 6 月 2 日改定
令和 2 年 8 月 23 日改定
令和 5 年 6 月 3 日改定

(総 則)

第 1 条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会支部規程を東北支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第 2 条 本支部における支部事務局を支部長が主宰する教室内に設置する。

(支部長・副支部長)

第 3 条 2 年毎に行われる理事選出選挙の後、第 6 条 2 項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は理事就任開始日からとする。

2. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

3. 支部長が本支部とは別の支部に異動した場合、支部長として退任となる。

第 4 条 本支部に副支部長 1 名を置く。

2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。

3. 支部長に事故あるとき、または支部長が別支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。

(支部役員)

第 5 条 支部役員は、支部規程第 7 条 1 項に沿い、支部所属理事の他、支部長推薦枠として本支部においては、会員である東北地区 7 大学の循環器を担当する内科の教授が就任することとする。その他にも支部役員として必要な人物がいる場合は、支部長が推薦する。

2. 任期中において各大学教授の交代があった場合は役員も変更となるが、就任期間は前任者を引継ぐこととする。

3. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第 6 条 支部規程第 8 条 1 項に定める支部監事の定数は、本支部においては 2 名とする。

2. 支部規程第 8 条 2 項に定める支部監事の選出について、本支部においては、支部運営から独立性をもった者を、支部長が候補者を会員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

3. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第 7 条 支部規程第 9 条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事 1 名、JCS-ITC 担当幹事 1 名、その他幹事を若干名とし、支部役員、支部評議員との兼務も可能とする。

2. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

3. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。

4. JCS-ITC 業務担当幹事は、会員かつファカルティーの中から選出することとする。ファカルティーがない場合は会員かつコースディレクターの中から選出する。
5. 支部幹事は、それぞれの業務において投資が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

- 第8条 支部規程第10条に定める支部評議員は、支部役員1名の推薦により選出し、支部役員会及び支部社員総会において承認する。
2. 候補者は、支部役員会予定日より15日以前に所定の用紙を用いた履歴書、業績書及び支部役員1名が署名・捺印した推薦書を支部長へ提出する。
 3. 支部評議委員会に正当な理由なく3回連続して欠席した者、退会した者、東北地区から移動した者は、支部評議員の資格を喪失する。
 4. 支部評議員の任期は4年とし再任は妨げない。
 5. 支部評議員の辞職は支部役員会及び支部社員総会において承認する。
 6. 支部評議員の期中での辞職については、速やかに補充を行うこととし、支部役員会にて承認した上で、後日支部社員総会において追認する。なお任期は前任者を引継ぐこととする。

(地方会会長)

- 第9条 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」に定められた内容を遵守しなければならない。
2. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
 3. 地方会会長は、地方会開催日程の決定を行う。
 4. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
 5. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
 6. 地方会運営にあたる企画会社の選定は、会長一任とするが、企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
 7. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設しなければならない。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
 8. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部名誉会員)

- 第10条 支部規程第4条2項に定める支部名誉会員は、東北地区単独の支部社員総会において選任する
2. 支部名誉会員の被推薦資格は、支部社員総会開催日において年齢65歳以上（当日に65歳を迎える者を含む）の東北支部所属の会員であり、支部評議員を3期以上務めたものとする。
 3. 支部名誉会員は、支部評議員会に出席することができる。また、支部社員総会にも出席することができるが議決権は有しない。
 4. 支部名誉会員は、支部役員、支部幹事の兼務を不可とする。
 5. 支部名誉会員は、永年資格とする。
 6. 支部名誉会員の内、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者は、支部特別名誉会員と呼ぶ。処遇は支部名誉会員に準用する。

(支部社員総会、支部評議員会)

- 第11条 支部規程第13条に定める支部社員総会、支部規程第14条の支部評議員会は、同時開催することとする。

(支部事務局業務)

第 12 条 支部規程第 15 条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

(地方会)

第 13 条 支部規程第 16 条 1 項に定める地方会について、本支部は原則として毎年 2 回地方会を開催する。

2. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会東北地方会とする。

地方会運営に関するその他の事項は地方会運営要領に定めることとする。

(JCS-ITC 講習会)

第 14 条 支部規程第 17 条 1 項に定める JCS-ITC 講習会について、本支部は JCS-ITC 業務担当幹事との協議により支部事務局において事務業務（受講者への連絡、受講料受付・謝金や立替金の精算 等）を行う。なお、これらの事務業務について、円滑に業務を遂行することを目的として、支部役員会の承認のもと、外部業者へ業務委託を行っても構わない。委託範囲・経済条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

2. JCS-ITC 講習会の事務業務については JCS-ITC 講習会事務要領に定めることとする。

附 則

1) この内規は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。

2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 地方会運営要領

平成 28 年 4 月 1 日施行
令和 5 年 12 月 2 日改定

この地方会運営要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という）において地方会を円滑に運営するために必要な事項を規定する。

（広 報）

1. 地方会会長は、地方会開催日程、会場、地方会会長事務局の担当者が決まり次第、本支部へ報告する。本支部は「地方会開催連絡票」を本会へ提出するとともに、本支部ホームページに情報を掲載することとする。
2. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。

（会 計）

3. 地方会会長、または、支部事務局担当幹事は、開催前年度の支部役員会・支部社員総会に出席して、本部へ提出予定の地方会予算及び事業計画について事前に承認を得る。また、支部評議員会にて報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる
4. 地方会参加費は、正会員 3,000 円、コメディカル 1,000 円、初期研修医無料、学部学生無料とする。参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
5. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。なお寄付金受入先について、本会が禁煙宣言を行っている学会であることを鑑み、本会学術集会同様、日本たばこ産業・鳥居薬品からの寄付受入は禁ずる。
6. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部よりその経費を補助する。ただし、上限を 100 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
7. 地方会において男女共同参画セミナーを実施する場合は、本支部より講師招請経費を補助する。ただし上限を 20 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
8. 地方会開催にあたり開設する金融機関の口座名義は、「一般社団法人日本循環器学会 第〇〇回東北地方会 会長 〇〇〇〇」とする。
9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いについて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会当日に徴収した参加費について、当日中に口座入金するか金庫に保管することとする。地方会終了後、翌営業日には口座入金することとする。
11. 教育講演の招請者への待遇について、謝金上限は演者 100,000 円（源泉税抜）、座長 50,000 円（源泉税抜）、交通費は実費支給とし、地方会当日、直接本人へ現金もしくは振込対応する。これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
12. 地方会で支払われた講演謝金及び会長校スタッフ臨時雇用費の源泉所得税は、地方会会長事務局において納付対応する。なお東北支部事務局から参加したスタッフ臨時雇用費は、東北支部事務局において納付対応する。
13. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
14. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会繰越金専用口座に振り込むこととし、地方会開催に関係無い備品等の購入に充ててはならない。その後、口座は解約する。

15. 地方会の経費精算は、原則地方会終了後2か月以内に完了させ、入出金に係るすべての証憑を本支部に提出しなければならない。外部の団体から助成金・補助金を受けた場合は、交付決定通知書の控えも提出すること。
16. 地方会会長は、開催次年度の支部役員会・支部社員総会、支部評議員会に出席して、地方会決算及び事業内容の報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる。

(会 議)

17. 支部役員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部事務局が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
18. 支部社員総会、支部評議員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
19. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

(演題募集)

20. 地方会会長は、演題募集スケジュールを決定し、「地方会演題募集ホームページ利用申請書」を本会及び本支部へ提出する。演題募集の開始日・締切日は前後に祝日のない火曜日から木曜日で設定すること。申請書の提出期限はオンライン演題募集システム利用開始の2カ月前とする。
21. 本支部は、オンライン演題募集システムの管理者用ID及びパスワードを地方会会長事務局へ通知する。なお、パスワードについては、本支部が毎年度更新することとし、変更後のパスワードを本会に通知する。
22. 募集締切日延長等の連絡は、混乱を避けるために必ず本会経由で行うこととする。

(専門医単位登録)

23. 地方会会長は、詳細が決まり次第「教育セッション開催届」ならびに「DVDセッション開催届」(DVDセッションを開催する場合に限る)を本会及び本支部へ提出しなければならない。
24. 地方会会長事務局は、地方会時に専門医単位登録(地方会参加5単位、教育セッション参加3単位、DVDセッション参加2単位)を行うこととするが、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
25. 教育セッション及びDVDセッションの専門医単位登録は、不正やミスを防止するため、時間を限定して行わなければならない。(例:セッション開始1時間(又は30分)前から終了30分前)
26. DVDセッションについて、同じ内容の講演会を学術集会及びインターネットで聴講したことのある会員は、単位加算ができない。地方会会長は事前にプログラム等でその旨を告知し、当日も会場に掲示すること。

(プログラム・抄録)

27. プログラムは、本会会告(偶数月25日発行)への抱き合わせで本支部会員へ発送することができる。希望する場合は、「地方会プログラム冊子抱合発送申請書」を本会及び本支部へ提出すること。プログラム以外の発送物(チラシ等)があれば、その内容を申請書に明記すること。申請書の提出期限は、会告発行1カ月前とする。
28. 抄録については、冊子発行を行わず本会ホームページに掲載する。本会ホームページへの掲載にあたり、抄録著者による校正は行わない。訂正等がある場合には、地方会終了後速やかに本会へ連絡することとする。なお、地方会会長事務局は、その旨をプログラムに記載し会員に告知すること。
29. プログラム完成後、本支部へ2部、本会へ5部を送付すること。
30. 地方会会長は、抄録データを本会に提出しなければならない。当日発表されなかった演題は抄録データとして扱わない。

(演題発表)

31. 地方会演者は、発表前のスライドにおいて定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
32. 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA「症例発表部門」「研究発表部門」)を設ける。
 - 2) 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
 - ① 応募資格
日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下または卒後 10 年以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。
 - ② 対象演題
日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題(ただし 1 科 1 演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。
 - ③ 選考方法
地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。
 - ④ 会長奨励賞
YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。
 - ⑤ 応募方法
一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。
 - ⑥ 賞
部門毎に最優秀賞 1 名(賞金 10 万円)および優秀賞若干名(賞金 5 万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。会長奨励賞は 1 名(賞金 5 万円と表彰状)。
 - ⑦ 締切り
一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。
 - 3) YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。
33. 日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
 - 2) 東北地方会 学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。

ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

① 応募資格

各地方会開催日において学生・初期研修医の方（日循会員の有無は不問）。

東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

② 対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。

③ 選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④ 応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

⑤ 賞

最優秀賞1名（賞金10万円）および優秀賞若干名（賞金5万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。

⑥ 締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

3) 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

（その他）

34. 会員への印刷物送付等の必要が生じた場合、本会へ「会員名簿・あて名作成依頼書」を提出して会員名簿及び宛名ラベルを請求することができる。会員情報のデータでの受け取りは原則不可とするが、例外的に申請する場合は、誓約書に会長の署名及び捺印が必要となる。

35. 地方会開催校については、公平を期すため各県で順番に開催する。なお、その順番等の変更については、支部役員会にて決定する。

附 則

1) この要領は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。この要領改正は、支部長の判断に基づき、支部事務局にて変更して良い。なお、変更時は、支部役員会での追認が必要となる。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 JCS-ITC 講習会事務要領

この事務要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部事務局において JCS-ITC 事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）を行うために必要な事項を規定する。

日本循環器学会は AHA(アメリカ心臓協会) と契約し、心肺蘇生法の教育を行う JCS-ITC(国際トレーニングセンター) を開設している。循環器専門医は心停止や心停止前後での蘇生や心拍再開後の集中治療を必要としていることから、AHA ACLS(二次救命救急措置) の資格取得を受験の条件としている。

また、医療従事者や一般市民向けのコースも開催しており、地域の救命率向上を目指していることから支部にてコース運営を行っており、それに付随する事務業務も支部事務局にて行っている。

※支部運営内規 第 6 条 3 にて定められる JCS-ITC 業務担当幹事はファカルティから選出される。

ファカルティは各コースの運営統括責任者であり、新たなインストラクターを教育する立場である。

1. 年 4 回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
2. コース開催日程は、支部ホームページに掲載することとする。
3. コース募集期間中、コースディレクター（以下、CD と略す）と連携を取り、受講者からの問い合わせ対応を行うこと。
4. 下記内容についての受講者への連絡を行うこと。
採択通知、追受講者の代理登録（CD より指示があった場合）、会場変更、コース中止
5. 講習会管理システムから受講者を確認し、受講者からの受講料入金確認を行うこと。規定日までに入金が確認できない場合には、入金の督促を行うこと。
6. 受講者より受講料領収書の発行依頼があった場合の発行手続きを行うこと。
7. 支部担当者が交代する場合には業務内容を明確の上、後任者へ引継ぎを行い、業務に支障が生じないようにすること。また支部担当者が急病等で業務を行えない場合は、事務局担当幹事より JCS-ITC 業務幹事に速やかに連絡をし、JCS-ITC 業務幹事と支部長において今後の対応を検討すること。
8. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。
9. 専用口座は、通帳管理者・印鑑管理者・キャッシュカード使用者（作成している場合のみ）を明確にし、一覧にして支部長へ提出しなければならない。（一覧に変更が生じた場合は随時、見直しを行い更新の上、提出する。）
10. 専用口座の通帳、印鑑は、使用者が施錠出来る場所に必ず保管しなければならない。また、キャッシュカード、パスワードについては使用者が変更となる度に変更しなければならない。
11. コース開催時にコースディレクター等が昼食代等の立替精算をした場合、必ず領収書（レシート可）を入手し、何を購入し、何に利用したのか、誰が立替えしたのか、分かるように領収書に記載（メモ書き可）の上、支部事務局へ提出すること。なおコース運営が参加者の受講料から成り立っていることを鑑み、不必要な経費支出は行ってはならない。
12. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクと各自立替えしたコース開催地までの交通費について、支部事務局へ報告しなければならない。支部事務局はコースディレクターからの報告に基づき、インストラクター・タスク一覧を作成する。
13. 各コースディレクターがコースに必要な資金を前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 業務担当幹事のメール承認を要する。
なお、JCS-ITC 業務担当幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
14. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。

15. 支部事務局は、インストラクター・タスク一覧、提出された旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金金額については本会、救急医療委員会において定められたとおりとする。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
16. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。
17. JCS-ITC 講習会運営専用口座で余剰金が 1000 万円を超えた場合、支部の JCS-ITC 講習会専用口座に資金を移行する。

附 則

- ・この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- ・この要領改正は、支部役員会での決定を必要とする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

平成 28 年 4 月 1 日施行
平成 30 年 6 月 2 日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成 21 年 2 月 14 日に開催される第 147 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award（東北地方会 YIA）

演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」（東北地方会 YIA）を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下または卒後 10 年以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題（ただし 1 科 1 演題）までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞 1 名（賞金 10 万円）および優秀賞若干名（賞金 5 万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。

会長奨励賞は 1 名（賞金 5 万円と表彰状）。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 会則

2019 年 12 月 1 日施行

2021 年 6 月 5 日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な研修医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
2. 本会則は 2019 年 6 月 1 日に開催される第 168 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より 6 名と、大会長が選出する 6 名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD

演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

各地方会開催日において学生・初期研修医の方（日循会員の有無は不問）。
東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。

選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

賞

最優秀賞1名（賞金10万円）および優秀賞若干名（賞金5万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。

締 切

一般演題締切日と同日とする。
一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

第 181 回日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学大学院医学系研究科 循環器腎臓内科学講座

富田 泰史

つがる総合病院 循環器・呼吸器・腎臓内科

阿部 直樹

岩 手

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

森野 禎浩

岩手県立二戸病院 循環器内科

西山 理

秋 田

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

渡邊 博之

いいの内科クリニック

飯野 健二

山 形

山形大学医学部 内科学第一講座

渡辺 昌文

山形県立中央病院 循環器内科

福井 昭男

宮 城

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野

安田 聡

仙台オープン病院 循環器内科

浪打 成人

福 島

福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座

竹石 恭知

福島赤十字病院 循環器内科

大和田尊之

第 181 回日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学大学院医学系研究科 循環器腎臓内科学講座

佐々木真吾

青森県立中央病院 循環器内科

櫛引 基

岩 手

岩手医科大学 医学教育学講座地域医療学分野

伊藤 智範

岩手県立胆沢病院 循環器内科

八木 卓也

秋 田

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

寺田 健

市立秋田総合病院 循環器内科

藤原 敏弥

山 形

山形大学医学部 内科学第一講座

渡邊 哲

北村山公立病院 循環器内科

西山 悟史

宮 城

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野

神戸 茂雄

仙台市立病院 循環器内科

八木 哲夫

福 島

福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座

及川 雅啓

太田西ノ内病院 循環器内科

八巻 尚洋

日本循環器学会東北支部役員（令和7年6月現在）

支 部 長	渡辺 昌文 (山形大学)		
副 支 部 長	安田 聡 (東北大学)		
理 事	渡辺 昌文 (山形大学)		
	安田 聡 (東北大学)		
支 部 役 員	竹石 恭知 (福島県立医科大学)	森野 禎浩 (岩手医科大学)	
	富田 泰史 (弘前大学)	金 一 (岩手医科大学)	
	渡邊 博之 (秋田大学)	齋木 佳克 (東北大学)	
	安田 聡 (東北大学)	熊谷 浩司 (東北医科薬科大学)	
	富岡 智子 (みやぎ県南中核病院)	渡辺 昌文 (山形大学)	
名誉特別会員	伊藤 宏	平 則夫	中村 元行
	丸山 幸夫	下川 宏明	小丸 達也
名 誉 支 部 員	青木 孝直	阿部 芳久	池田こづえ
	池田 精宏	石橋 敏幸	伊藤 貞嘉
	猪岡 英二	大和田憲司	岡林 均
	金谷 透	長内 智宏	小野 幸彦
	加賀谷 豊	金澤 正晴	金塚 完
	上月 正博	小岩 喜郎	後藤 敏和
	小林 政雄	齋藤 崇	齋藤 富善
	佐々木 弥	佐藤 昇一	佐藤 匡也
	杉 正文	瀬川 郁夫	高松 滋
	立木 楷	田代 敦	田村 芳一
	野崎 英二	藤野 安弘	前原 和平
	松井 幹之	室井 秀一	元村 成
	盛 英機	柳澤 輝行	山家 智之
	山本 文雄	渡辺 毅	
支部評議員	各県ごと五十音順、○印は社員（旧：全国評議員）		
青	森	阿部 直樹	木村 正臣
		齋藤 新	大徳 和之
		花田 裕之	松井 宏光
		横田 貴志	横山 公章
岩	手	石田 大	○伊藤 智範
		木村 琢巳	○金 一
		小松 隆	高橋 智弘
		房崎 哲也	三浦 正暢
秋	田	飯野 健二	小坂 俊光
		佐藤 誠	鈴木 智人
		寺田 健	豊野 学朋
		藤原 敏弥	堀口 聡
山	形	有本 貴範	池野栄一郎
		穴戸 哲郎	菅原 重生
		新関 武史	西山 悟史
		宮本 卓也	宮脇 洋
宮	城	伊藤 健太	岩渕 薫
		菊地 翼	熊谷 浩司
		佐藤 公雄	○篠崎 毅
		高濱 博幸	建部 俊介
		浪打 成人	野田 崇
		矢尾板信裕	○安田 聡
福	島	石田 隆史	今坂 堅一
		金城 貴士	國井 浩行
		齋藤 修一	杉本 浩一
		○中里 和彦	福島 賢慈
		那須 雅孝	前原 和平
支 部 監 事	支部事務局担当幹事：渡邊 哲（山形大学）		
支 部 幹 事	支部幹事：有本 貴範（山形大学）		
	JCS-ITC 講習会担当幹事：花田 裕之（弘前大学）		
		○富岡 智子	○佐々木真吾
		○富田 泰史	萩井 讓士
		皆川 正仁	森 康宏
		遠藤 秀晃	大和田真玄
		熊谷亜希子	肥田 頼彦
		中村 明浩	西山 理
		○森野 禎浩	八木 卓也
		阪本 亮平	佐藤 輝紀
		関 勝仁	武田 智
		中嶋 博之	長谷川仁志
		松岡 悟	○渡邊 博之
		内田 徹郎	佐藤 匡
		須藤 直行	高橋 大
		廣野 摂	福井 昭男
		○渡邊 哲	○渡辺 昌文
		大原 貴裕	川本 俊輔
		○齋木 佳克	西條 芳文
		白戸 崇	○高橋 潤
		○富岡 智子	中野 誠
		後岡広太郎	羽尾 清貴
		山本 沙織	
		及川 雅啓	大和田尊之
		○竹石 恭知	小松 宣夫
		八巻 尚洋	武田 寛人
			義久 精臣

日本循環器学会東北支部

各種委員会 委員名簿（令和7年6月現在）

* 委員長

ダイバーシティ推進委員（旧 男女共同参画委員）

相馬 宇伸（青森）	對馬 迪子（青森）	小島 香（岩手）	登坂 憲吾（岩手）
岩川 英弘（秋田）	梅田 有理（秋田）	渡部 賢（山形）	* 齋藤 悠司（山形）
山本 沙織（宮城）	佐藤 遥（宮城）	黒沢 雄太（福島）	菅原由紀子（福島）

オブザーバー

有本 貴範（山形）	富岡 智子（宮城）
-----------	-----------

心肺蘇生法普及委員

花田 裕之（青森）	齋藤 新（青森）	鈴木 智人（秋田）	深堀 耕平（秋田）
及川 浩平（岩手）	照井 克俊（岩手）	* 渡辺 昌文（山形）	宮本 卓也（山形）
須貝 孝幸（山形）	篠崎 毅（宮城）	羽尾 清貴（宮城）	水上 浩行（福島）
佐藤 悠（福島）			

成人先天性心疾患部会委員

大徳 和之（青森）	三浦 文武（青森）	妹尾麻衣子（青森）	高木 大地（秋田）
豊野 学朋（秋田）	寺田 健（秋田）	小泉 淳一（岩手）	齋木 宏文（岩手）
芳沢美知子（岩手）	水本 雅弘（山形）	鈴木 康太（山形）	土屋 隼人（山形）
* 齋木 佳克（宮城）	松尾 諭志（宮城）	多田 憲生（宮城）	建部 俊介（宮城）
若松 大樹（福島）	桃井 伸緒（福島）	及川 雅啓（福島）	

第181回 日本循環器学会東北地方会 一般演題抄録

- YIA 症例発表部門 (1 ～ 5)
- YIA 症例発表部門 (6 ～ 10)
- 学生・初期研修医 AWARD 発表部門 (11 ～ 15)
- 心不全 (16 ～ 21)
- 不整脈 1 (22 ～ 26)
- 不整脈 2 (27 ～ 31)
- 血管炎他 (32 ～ 36)
- 心筋炎 (37 ～ 42)
- 虚血 2 (43 ～ 48)
- 不整脈 3 (49 ～ 53)
- 虚血 1 (54 ～ 58)
- 肺高血圧 (59 ～ 63)
- 外科・手術 (64 ～ 68)
- 先天性心疾患 (69 ～ 74)
- 補助循環・デバイス (75 ～ 80)

令和 7 年 12 月 6 日 仙台サンプラザホテル

会 長：安田 聡

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野